



相生小学校

風の子 太陽の子

学校便り
No. 4

R7.6.5

かけがえのない命を大切にする

6月12日は、浜松市では「命について考える日」です。

相生小学校では、6月4日～12日を「命について考える週間」として、道徳の授業や学級指導の時間の中で、自分の命だけでなく、周りの友達の命を大切にすることや人を思いやる心の大切さについて指導をしていきます。また、6月4日の朝会でも、子供たちに命の大切さについて話をしました。親から授かった命は一つしかありません。その大切な命を失うということは、家族はもちろんのこと、周囲の人たちにも深い悲しみをもたらします。御家庭でも、お子さんとの会話の中で学校での様子と併せて命の尊さについても話題にしていだけたらと思います。よろしくお願いします。

《朝会の話》

なぜ命は大切なのでしょうか？私は、命が大切な理由を3つ考えました。

1つめは、命はなくなると、もう2度と戻らないからです。

人は死んでしまったら、生き返ることはないのです。死んでしまったら、ゲームのようにリセットしてそこからやり直すことはできません。

2つめは、命がなくなると、本人が一番悲しいからです。

これから先、辛いこともあるかもしれませんが、それよりも楽しいことは山ほどあります。みなさんも 夢があると 思います。いろんな国に旅行に行きたい、友達をいっぱい作りたい、スポーツ選手になって、みんなに感動を与える人になりたい、ケーキ屋さんになって、みんなにおいしいケーキを食べてほしい、などいろんな夢があると思います。皆さんには、限りない可能性があるのです。でも、死んでしまったら、何一つ叶えることはできません。とても悲しいことだと思いませんか？

最後に3つめは、命がなくなると、家族や友だち、学校の先生方、地域の方々が悲しむからです。

特に、お母さんやお父さんは、悲しくて悲しくて毎日泣いて過ごすでしょう。仕事だってできなくなるかもしれません。そして、大切な我が子を守れなかったのかと、いつもいつも自分を責め続けるのです。

おうちの人や先生から、「横断歩道を渡りなさい」とか「暗くなる前に家に帰りなさい」とか「危険な遊びはやめなさい」など注意されたときに、「わかっているのに、うるさいな」などと感じたことはありませんか。注意してくれる人が皆さんのことを心から大切に思っ、命を粗末にすることがないように言ってくれていることですので、きちんと受け止めてほしいと思います。

大事な大事な命です。たった1つしかない命です。自分の命は、自分自身で守りましょう。飛び出しは絶対にしてはいけません。必ずいったん止まって、右・左・そして、もう1回右を見て渡ってください。つらいことがあった時、もう嫌だと思ふことがあるかもしれません。そんな時は、一人で悩むのではなく、友達や家族、先生に相談しましょう。私たちは、皆さんの味方です。

最後に、これも大切なことです。自分の命とともに、他の人の命も大切にしましょう。いじめは絶対に許しません。暴力はいけません。悪口も言葉の暴力です。友達がいじめられているのを見たり聞いたりしたら、すぐに先生たちに話してください。全校のみんなで、相生小学校をいじめのない 安全で安心な学校にしていましょう。

温かく
かかわる力自分を
高める力あきらめずに
挑戦する力夢をもち
つなげる力

浜松市立相生小学校
キャリア教育を
推進しています。